



1 豊野小ではKODOMO新聞を89人に寄贈 2 寄贈された新聞を読む 3 SDGsの説明をする浜田さん 4 植樹した苗木の前でピース 5 協関係者が笑顔で一緒に植樹

—「九州・山口 未来の森～みんなで学ぼう SDGs」プロジェクト—  
子どもたちへ SDGsを学ぶ3つのイベント

9/14・9/20・10/3 9月14日、市内の小学4年生から6年生1,600人に(株)読売新聞西部本社が読売KODOMO新聞を寄贈しました。これは、7月に同社と(株)熊本県民テレビ、市で締結したSDGs普及啓発に関する協定の一環。これに続き、9月20日、「新聞のちから」委員会の浜田昭彦さんが、豊野小5年生の児童に自分たちでできるSDGsの取

り組みについて出前授業。10月3日には、豊野町山崎地区にある日本製紙(株)の社有林で同小5年生の児童とサクラなど200本を植える植樹式を開催。授業を受けた井出悠斗さんは「環境を守ることに意識が高まった。」と話し、山下哲平さんは「動物が住みやすくなるよう、木がずっと長く育ってほしい。」と願いを込め植樹しました。



(写真右から)金婚の思いを述べる野田寛さんとつた子さん

— 宇城市熊日金婚夫婦表彰式を開催 —  
昭和、平成、令和の時代を共に50年

9/28 ウイングまつばせで宇城市熊日金婚夫婦表彰式が4年ぶりに開催され、昭和48年に結婚して、今年金婚を迎える申請があった132組の夫婦のうち74組が出席しました。金婚夫婦を代表し、豊野町の野田寛さん(75)、つた子さん(70)が「これからも社会の役に立てるよう健康やかに過ごしたい。」と思いを述べました。



プロジェクトを盛り上げた中学3年生の皆さん

— 豊野町のひまわりプロジェクトでイベント開催 —  
10万本のヒマワリ畑で地域を元気に

9/22 9月に開園したうきうき豊野ひまわり園でイベントが行われ、約130人が参加しました。豊野小3年生と豊野中3年生が総合的な学習の時間を利用し、地域の人と力を合わせてイベントの企画立案や製作などを実施。参加した豊野中3年生の生徒は「初めての経験でしたが、自分自身が成長できたと思う。」と話しました。



集まったおもちゃや絵本の中から選ぶ子どもたち

— イオンモール宇城で3回目の開催 —  
絵本とおもちゃの交換会

9/16～18 市は、地域活性化とSDGsの推進を目的に今回で3回目となる「えほん・おもちゃの交換会」を開催。3日間で約770組が参加しました。持ち込まれた3,500個ほどの絵本やおもちゃのうち2,700個が交換され、参加者からは「新しいおもちゃや絵本があることが毎回楽しみです。」との声が聞かれました。



菊池支部長(左から3番目)から守田市長へ目録を贈呈

— 県建設業協会が転圧機械を寄贈 —  
道路などの補修に活用

9/8 熊本県建設業協会宇城支部の菊池武支部長らが市役所を訪れ、道路補修などに使うプレートコンパクター4台を寄贈しました。これは建設業界がSDGsを達成するための取り組みの一環。守田憲史市長は「道路など急修繕から本格復旧まで有効に活用し、市でもSDGsを推進していきたい。」と感謝しました。



参加した児童たちは、苦戦しながらもキジを放ちました

— 小川町海東地区でキジの放鳥会 —  
キジから自然環境の大切さを学ぶ

9/19 (一社)熊本県猟友会がキジの放鳥会を行い、海東小6年生12人が参加しました。放鳥体験を通して、野生鳥獣に触れ自然環境の大切さなどを学ぶのが目的です。児童たちは、ふ化して6カ月のキジ28羽を放鳥。同校の岩上慶次さんは「キジは意外にかわかった。自然の中で元気に過ごしてほしい。」と喜んでいました。



笑顔あふれる交流となりました

— 台湾から宇城市に訪問 地域の取り組みを学ぶ —  
戸馳のまちおこし、海外からも関心

9/18 九州の魅力的な地域づくりの事例視察と交流を目的に、台湾の龔明鑫国家發展委員会主任委員と地方創生代表青年団ら総勢30人が戸馳島を訪問しました。(株)イノP代表の宮川将人さんらが、活動内容と島の将来ビジョンなどを講演。同青年団は、台湾の農業による地方創生について発表し、互いに交流を深めました。

市ホームページには、  
たくさんの写真と詳しい  
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い  
TOPICS

